



久留米大学

KURUME UNIV. SYOUKEI DOSOKAI SOKUHO

# 商経同窓会速報

発行所  
〒839-8502 久留米市御井町1635  
久留米大学商経同窓会  
広報委員会  
TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846  
E-mail:syoukei@ktarn.or.jp

久留米大学商経同窓会速報№.42

平成27年7月5日発行

## 会長挨拶



## 祝 千歳会館 10周年

久留米大学商経同窓会

会長 大木 武彦

(昭42年商14回卒)

暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

### 同窓会館

平成17年4月に新築オープンしました御井学舎同窓会館は今年の4月で10周年となりました。この会館の名称は筑後川の別名千歳川に由来したものです。この同窓会館の建設につきましては紆余曲折を経て実現しましたが、当時の故馬場宏之商経同窓会会長と赤司昌生現顧問(当時副会長・建設委員長)お二方のご努力、行動力の賜物でありました。銀行支店長歴任の馬場会長、会社社長の赤司副会長という優秀な民間経営者のお二方だから成しえたことです。当時私は規則委員長として経過を見守っておりましたが、完成に至る経過は別稿で赤司顧問に述懐して頂いております。

### オーケストラ

6月3日付の西日本新聞に「久留米大弦楽合奏団」の紹介記事がありました。経済学部の秋本耕二教授の呼びかけで二年前にスタートし、現在26名が所属して週3回の練習を重ねているとのこと。ぜひ将来はオーケストラにまで発展してもらいたいものです。

私は5月末、チケットが2枚あったので同期生で混声合唱赤とんぼの会世話人の高浪氏を誘って「久留米市民オーケストラ」第27回定期演奏会に行ってきました。曲目はモーツァルト；歌劇魔笛序曲、ドヴォルザーク；チェロ協奏曲作品104番、フランク；交響曲作品48でした。他に私は、久留米で気軽に聴ける母校の「明善オーケストラ」と「スロバキア国立オペラ」の定期演奏会に興味の一つとして出かけています。クラシック音楽のきっかけは小・中学生時代に聴いた、ベートーベンの月光、バッハのG線上のアリア、サラサーテのチゴイネルワイゼンなどの曲からです。大学時代にはもっぱらFMラジオやクラシック喫茶で聴いていました。学生時代に感動した曲を、当時書き留めておいたメモから拾うと次のような曲です。ブラームス；交響曲第1

番～第4番、ピアノ協奏曲第2番、ハンガリー舞曲第1番。バッハ；ヴァイオリン協奏曲第2番、管弦楽組曲第3番序曲。ベートーベン；英雄、田園。チャイコフスキー；交響曲第4番～第6番悲愴、ピアノ協奏曲第1番、ピアノ三重奏曲、ヴァイオリン協奏曲二長調。ドップラー；ハンガリー田園幻想曲。ドヴォルザーク；交響曲第8番イギリス、交響曲第9番新世界より。グリーグ；ペールギュント組曲。ハイドン；交響曲第100番軍隊。ムソルグスキー；ラヴェル編曲展覧会の絵。メンデルスゾーン；ヴァイオリン協奏曲ホ短調。モーツァルト；交響曲第40番。プッチーニ；歌劇トスカ。ラフマニノフ；ピアノ協奏曲第2番、パガニーニの主題による狂詩曲。サンサーンス；ピアノ協奏曲第4番。シューベルト；未完成、弦楽五重奏曲作品163。シベリウス；交響曲第1番。ショスタコヴィチ；交響曲第5番革命。ヴィヴァルディ；合奏協奏曲四季。ベルリオーズ；幻想交響曲。ショパン；革命、ノクターン。リスト；ラカンパネラ、等々。これらの曲を今インターネットで改めて聴いてみると、数十年を経て自分の感受性や好みが変わっていないことに気が付きます。自己の音楽的感性が学生時代に形成されたのか、はたまた単細胞ゆえに何ら進歩していないかのどちらかでしょう。ともあれメンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」とラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」を一度聴いてみてください。ドヴォルザークの「新世界より」もお薦めです。新たな勇気が湧いてきます。

### 商経同窓会支部会の活況

昨年度も各地の支部会様にお邪魔いたしました。各地支部会様の気概あふれるお取り組みに接し、本当に有難く感謝申し上げます。いつも最後に斉唱する久留米大学校歌は同窓生ならではの強い一体感を覚え感動しております。支部会様の活躍、活性化が同窓会全体の発展に、引いては大学の発展に寄与しています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 平成27年度代議員会・定期総会を開催



平成27年度代議員会・定期総会は4月25日(土)午前11時より学生会館3階ミーティングルームで開催されました。出席者94名で開会し、荒川議長欠席のため池田副議長より

- 第1号議案 平成26年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成26年度収支決算並びに監査報告承認の件
- 第3号議案 平成27年度事業計画承認の件
- 第4号議案 平成27年度予算承認の件

の議案が進められ、いずれも可決承認されました。また諮問事項の大学評議員について、同窓会入会金値上げについて、報告事項の副会長について、も同じく承認されました。



### 会長挨拶(要旨)

皆さんこんにちは。会長の大木です。本日はお忙しい中を遠路ご出席頂きまして有り難うございます。また、大学からは福永商学部長先生、浅見経済学部長先生にご臨席を賜り誠に有り難うございます。

さて、待望の御井キャンパスのシンボルトワーとなります「御井本館」1期工事が1月に完成して、そのお披露目をかねて3月22日にホームカミングデーが行われました。見学希望者150名ほどの参加のもと、建物内見学と講演会、祝賀会がありました。建物はもう見られましたでしょうか。また後ほどゆっくり見ていただきたいと思います。

同窓会でございますが、平穏な一年ではなかったろうかと思えます。ただ、本部の島田副会長が1月19日に急逝されたことは、大変驚くとともに残念でございました。10年程前から持病をお持ちだったと聞いております。

支部会の方は、昨年度20箇所の支部会が各地区および職域で開催され、活発に活動された1年でございました。

大学の方は、入口の入学者については、少子化による大学全入時代の、他大学との競争下にあつて、志願者増のためにますます他大学との差別化施策、久留米大学独自の「特徴の打ち出し」が必要だと感じられます。

出口の就職の方は、アベノミクス効果で求人・採用環境が好転しているようです。欲を言えば、有名企業への就職者が増えれば、おのずと入学志願者増にも繋がっていくものと思います。教職員の皆さんも入口の志願者増、そして中味の学生教育、出口の就職支援と、懸命に努力をされているようです。

我々といたしましても、同窓会本来の親睦と連携、のみならず、学生への支援や大学の維持発展を支えたいものだと思います。どうぞ皆様よろしくお願い致します。

終わりにになりましたが、本日ご参集頂きました代議員皆様の今後ますますのご健勝、ご発展を祈念申し上げて挨拶とさせていただきます。有り難うございました。



### 福永商学部長挨拶(要旨)

こんにちは。商学部長の福永です。この場で挨拶するのは3回目になります。あと1期、2年務めることになりましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。昨年は十数ヶ所の支部会に出席し、大変

な歓迎を受けました。どの支部においても活発な活動、母校を愛する団結力があることに深い感銘を受けました。

大学においては、商学部265名の定員に対し、新1年生270名が入学しました。たいへん厳しい状況になっております。現在、18歳人口は120万人で推移しておりますが、2018年から毎年2万5千人ずつ18歳人口が減り、私が定年を迎える2027年には100万人まで減るという予測が出ております。私が赴任した1993年には200万人だった18歳人口が30数年で約半数に減るといふ大変な状況です。同窓生の皆様のご支援ご協力が是非必要となります。また、就職内定率は商学部においては非常に良く、3月末で91.7%、最終的に4月末で昨年並みの95%に達する見込みです。これも同窓生の皆様のご支援の賜物であると思っております。大学の入口、出口の入学と就職は大学の大切な部分でありますので、同窓生の皆様のお知恵をお借りして、この難局を乗り越えたいと考えております。

先日のホームカミングデーでは多くの方にお集まりいただき、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。新しい御井本館、立派なハードに見合ったソフトを提供しなければならないと考えております。これからも同窓会の皆様の貴重なご意見を頂戴し、大学運営に反映したいと考えております。

簡単ではありますが、私の挨拶に代えさせていただきます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。



### 浅見経済学部長挨拶(要旨)

このたび経済学部長を拝命いたしました浅見です。日頃いろいろご支援いただき、誠にありがとうございます。本日もここに同窓会代議員会・定期総会を開催することができ、誠に喜ばしく思っております。

さて、それによりますと、毎年入学者数の報告を行うことになっておりますが、経済学部の今年の入学生は、定員259名に対して298名、昨年より少し減っておりますが、何とか定員をキープすることができました。少子高齢化に伴う受験生の減少は続きますが、いかにすれば大学の魅力度をアップし、受験生を確保できるか、現在全学をあげて考えているところであります。

大学の力については、週刊東洋経済などでしばしば特集が組まれておりますが、それには、研究力、教育力などが主として含まれております。もちろん大学の持つさまざまな魅力(いわゆる「学風」)も重要かと思われれます。今日では、「学士力」「社会人基礎力」も重視されております。それをいかに身につけさせるかは私たちの仕事ですが、さらに、特に大手大学などをみていますと、やはり洋の東西を問わず、大学の強さの一つには同窓会パワーがあるのではないかと感じております。そこには強い社会的ネットワークがあるように感じます。

同窓会は、大学にとっては大きな資産であると感じております。商経同窓会はおそらく第1期生が卒業された昭和29年に設立されたとしますと、60年の歴史を持つこととなります。私が昭和28年生まれですので、ほぼ同じ年を経ることとなります。その間に多数の卒業生を輩出し、それは社会の中で大きなネットワークになっていると思えます、そのようなネットワークを活かしながら、同窓会、大学共に一致団結し、発展していくことを願ってやみません。

私たち教職員も頑張りますが、是非同窓会の皆様方のご支援、ご助言を賜りますことを願っております。最後になりますが、皆様方のご健勝を強く願ってやみません。

以上ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。



## 同窓会館建設10周年に思う

久留米大学商経同窓会顧問

赤司 昌生

(昭32年商4回卒)

今から22年ぐらい前になりますか、商学部同窓会が医商分離してからの同窓会は事務局も大学の都合で二転三転し物置みたいなところを借りて、幹事会もそのときの授業次第で、会議できる教室がどこになるかわからないといった状況の、まったくの根なし草で、落ち着いて活動ができる状態ではありませんでした。何とかして自前の同窓会館の建設をと熱望したわけです。

大学の近くに土地を探して購入しよう、そして自分達の同窓会館を建設しよう、資金は入会金を担保に役員保証でもして銀行から借り入れ、一日でも早く一期生が生まれているうちに実現しようと真剣に考えたのです。

故馬場会長の熱意と学校法人側のご厚意による建設場所の提供で機運が高まり、早速各学部同窓会から2名の委員を選出してもらって、同窓会館建設委員会を立ち上げ予算は4,000万円（各学部1,000万円）で設計の検討に入りました。

御井学舎に同窓会活動の拠点として、会館を建設することについては誰も異存がないと思い、すぐに話もまとまり一年先には日の目を見れると簡単に考えていましたが、学部による必要性の温度差や、考え方の相違があり何回も何回も建設委員会をしてもまとまらず、建設まで二年半もかかりました。会館建設委員長としてまとめる意味での強引な発言などあったと思いますが、建設後の同窓生皆さまの喜びと、同窓会活動の拠点としての会館の活躍に免じ時効にしてもらいたいものです。

10年前、本当は会館建設を期に各学部まとめて、御井学舎同窓会一本化も考えていましたが、商学部と他の学部との年齢の差があまりにも大きく、同窓会の目的や意義は同じでしょうが、考え方の違いがあり実現できなかった。

医商合同の時以来60年以上見直ししなかった規約改正も終わったことだし、そろそろ会館建設10周年を期に、文系同窓会の一本化に向けてエネルギーを使ってはどうでしょうか。

母校が発展し大学が続く限り、同窓生は毎年誕生し増え続けます。現在商学部が先行していますが、学部がすべて60周年に到達した時点ですべての学部の生存している卒業生の数が同数になります。現在商学部が卒業生が多いから実績もありますが、もう時間の問題です。

医学部同窓会は同業組合のようなもので、母校とのつながりがあり名簿にしても卒業後の居住の確認も一応正確にできますが、文系の同窓生は卒業時の住所から、勤務先の関係、結婚による移転などの住居変更の報告がなければ、連絡も出来ないし、どうしようもありません。手紙をだしても半分以上は返ってきません。

商経同窓会では支部を各地に立ち上げ、支部活動を活発にして同窓生の親睦をはかり、消息も調査し、正確な名簿を作成して会報や速報で母校の情報、同窓会の活動状況などの広報に努めています。

現在、各支部会は経済学部の卒業生は勿論、法学部、文学部の卒業生の参加をみて盛大化しています。このことをもっともっとPRして、経費面でも多分に応援し、支部の活動を活発化したらどうでしょうか。各支部が文系同窓会合同の支部会が確定化し、学部の片寄りがある程度なくなれば、自ずと一本化できるのではなかろうかと思っています。

そして支部から支部長推薦で幹事をだせば（代議員は別途考えねばなりません）、その他は商経同窓会の規約が使えそうな気がします。

同窓会館建設10周年を期に4学部の壁をとりはらって、久留米大学御井学舎同窓会としての一本化を熱望します。



千歳会館（御井学舎同窓会館）



## 平成27年度事業計画



- 総務委員会**……………**委員長 武宮 雅治**
- (1) 同窓子女の母校受験を引き続き支援するための奨学金制度の浸透をはかります。
  - (2) 家計急変者の4年生後期学納金困難者（学部長推薦）に対し、同窓会学納金援助基金制度の浸透をはかります。
  - (3) 学生のクラブ活動、ボランティア活動、国際交流等に対する支援を行います。
  - (4) 同窓会館を利用して同窓生の交流をはかります。

- 財務委員会**……………**委員長 姫野 昭彦**
- 前年度に引き続き同窓会入会金につきましては、平成28年度入学者より適用できるよう会長をリーダーとして、大学側に対し強く働きかけを行って行きたいと思っております。
- また、年会費、終身会費につきましては、支部長、幹事、会員皆様方の協力のもと、支部総会等の中で声かけを行い、会費納入をお願いすることで、同窓会活動の基盤強化に努めていきたいと思っております。

- 組織委員会**……………**委員長 原口 彰**
- (1) 休眠支部の再構築。大分県北、鹿児島、広島各支部及びその他。
  - (2) 各支部の活性化。支部長や各支部の同窓生のご意見を拝聴し、成果の上がる組織活性化を図ります。
  - (3) 第2回女子会を大学本部の協力をいただき、大学

の学生会館で会合。3月22日大学カミングデーに併せて会合開催。まだまだ課題（学部の垣根なしでの予算もなしでの組織化と会のネーミング）もありますが、同窓生の声を聞きながら、有意義な会に育てる。

- 広報委員会（HP委員会）**……………**委員長 平川 猛展**
- (1) 代議員会・定期総会終了後、直ちに7月発行の“速報”に着手して、代議員、本部役員学内関係者、支部長宛に発送致します。
  - (2) 会報をより充実した内容にするよう取り組んで参ります。
  - (3) ホームページの充実を図り、卒業式・ホームカミングデー・入学式等を掲載します。

- 規則委員会**……………**委員長 木下 一弥**
- 本年度も同窓会活動を規則面からサポートしてゆきたいと思っております。何か規則面で改善のご要望がありましたら委員会で検討してまいります。

- 名簿委員会**……………**委員長 中橋 肇**
- 同窓会名簿は個人情報保護法により、取り止めております。但し、名簿の管理は今後も同窓会事務局にて行っていきます。なお、皆様の住所等の変更がございますたら、事務局まで必ずお知らせ下さい。最新のデータ収集を行い、整理管理いたします。個人による閲覧は中止とします。

### 委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委員		
総務委員会	武宮 雅治	久保田一喜	橋本 良一	矢野 則行	長家 秀典
財務委員会	姫野 昭彦	白江 淳	国武 勝征	弥永 祐司	
組織委員会	原口 彰	原 万一郎	大津 秀明	藤吉 嘉明	大尾 正博
広報委員会	平川 猛展	富安 收	朝久 岩生	土谷 昌敏	
規則委員会	木下 一弥	白坂 良太	太田 一宏	高浪 孝一	
名簿委員会	中橋 肇	梅崎 哲夫	志岐 弘嘉	菊池 直樹	
役員等推薦委員会	大木 武彦	武宮 雅治	江頭 義人	原口 彰	平川 猛展
援助基金委員会	江頭 義人	武宮 雅治	梅崎 哲夫	久保田一喜	木下 一弥

### 会費納入のお願い

終身会費、年会費のいずれかを選択の上、同窓会費の納入をお願いいたします。

**終身会費** 15,000円（1回限り）

**年会費** 3,000円（毎年）

**振込先** 郵便振替口座  
01700-7-29407

**加入者名** 久留米大学商経同窓会

### 平成27年度支部会開催予定（既連絡分）

支部名	開催日	場所	支部長
宮崎	平成27年7月11日(土)	東天閣	二宮 繁夫
筑邦銀行	平成27年7月17日(金)	ホテルニュープラザ久留米	坂本 真司
長崎	平成27年10月17日(土)	ホテルニュー長崎	荒木 巧
関西	平成27年10月25日(日)	未定	市来 輝夫
佐賀県	平成28年2月7日(日)	グランデはがくれ	梅崎 哲夫

### お知らせ

**訃報** 島田征児副会長（大学評議員）が今年1月19日に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

上記に伴い、武宮雅治氏に副会長（兼総務委員長）、上床一幸氏に大学評議員をそれぞれ就任頂きました。

### 第8回久留米・県南支部合同親睦ゴルフ会

平成27年4月7日（火）、八女上陽カントリークラブで、初参加の八女支部会の4名が加わり総勢14名でスタートしました。当日は少し肌寒かったのですが参加者全員楽しくラウンドできました。優勝は国武勝征氏（商14回卒）、準優勝は辻 政治氏（商15回卒）、3位は青木敏浩氏（商15回卒）でした。

国武氏は当ゴルフ場火曜オープンコンペの3位にも食い込み、ダブルで賞品をゲットしました。秋の11月には久留米・県南・八女支部合同の親睦ゴルフ大会を予定しています。同窓生皆様のご参加をお待ちしています。

幹事 国武 勝征(商14回卒)



### 福岡支部ゴルフ会

去る4月16日（木）、第58回久留米大学同窓会・福岡支部のゴルフコンペが開催されました。年2回開催されます、このゴルフコンペは同窓生懇親会の場となっておりますが、今回は宗像市の玄海ゴルフクラブで行われ、参加者は薬師寺名誉学長を含め13名でした。優勝者は、24回生の梅田芳徳氏、準優勝者は11回生の秦仙太郎氏、3位に初参加の17回生石井安英氏が入賞しました。次回は今年の秋開催の予定です。

